

施策コード	5-4
-------	-----

中心所管課	土木港湾課
関連所管課	東港地区開発推進室、企画政策課

第5章	人と人がつながり快適な暮らしを支えるまちづくり -都市基盤整備-							
基本施策名	4 港湾・河川・海岸							
総合計画の目標指標								
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		SDGs独自指標
		R2	R3	R4	R7	R12		
輸出入取扱貨物量	千トン ／ 年間	1,550	607	1,030	1,670	1,790		
堆積土砂撤去河川	km ／ 年間	2.0	0.9	2.3	2.0	2.0		

施策の内容(主な取組)		
単位施策名	実績・成果	今後の方向
1 港湾物流機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・11号岸壁延伸 L=30m(三河港蒲郡地区) ・標識灯設置工 N=2基(倉舞港) ・防潮扉補修工 N=2基(倉舞港) 	<ul style="list-style-type: none"> ・蒲郡ふ頭11号岸壁は全体計画(570m)の整備を促進する。 ・倉舞港は計画的な維持管理を行い、施設の長寿命化及びサービス水準の維持を図る。
2 にぎわいのある“みなと”づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、クルーズ船「につぼん丸」が1回、クルーズ船「ばしふいっくびいなす」が1回寄港した。 ・市民等とのまち歩き及びワークショップ(夜間景観含む)等を経て、サンセットマーケット(ミニ社会実験)を市民等が関わりながら実施し、今後の計画づくりや公共空間活用に対する意識醸成を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内及び海外のクルーズ客船を誘致し、地域の活性化や認知度の向上を図る。 ・港の未利用地を中心に土地利用実現に向けて市民や民間事業者と対話・連携して計画づくりを進め、あわせて市民等のまちづくりの主体形成の支援に取り組む。
3 河川・海岸改修の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・河川浚渫工 L=2,297m 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な河川改修及び浚渫を行い、災害対策と良好な河川環境の維持を図る。

主要事業の実績評価					
施策番号	事業名	事業費(千円)		実績(R4年度)	今後の方向
		R4(決算額)	R5(予算額)		
		人工			
1	港湾整備事業	6,131	6,300	・標識灯設置工 N=2基 ・防潮扉補修工 N=2基	・施設整備により安全性、利便性の改善を図る。
		1.0			
2	クルーズ客船おもてなし事業	1,060	5,000	・クルーズ客船の寄港 N=2回	・クルーズ客船を誘致し、観光及び港湾の活性化を図る。
		0.6			
2	公民連携まちづくり事業	6,439	73,207	市民等と共に、公民連携による空間づくりの手法を学び、港における日常の風景をつくってみるミニ社会実験を実施した。	社会実験実施による検討や民間資金活用を検討し、実現性のある具体的な土地利用計画の作成に取り組む。
		1.0			
2	ラグーナ蒲郡運営支援	263,100	261,480	平成26年度から観光・雇用拠点であるラグーナ蒲郡の運営事業者である株式会社ラグーナテンボスに対して条例に基づいた交付金を交付。交付期間10年としつつも上限30億円まで延長できるものとなっているため、上限額まで延長することとした。	これまでの支援による経済効果等を検証しつつ、ラグーナテンボスの黒字化を目指した連携を検討する。地域の雇用・経済を担っていることから、交付期間終了後においても市の魅力向上、市民生活の満足度向上に資する連携策を検討する。
		0.2			
3	河川維持整備事業	8,613	8,500	・落合川ほか11河川の現地調査 L=25.6km	・市管理河川の台帳を整備し、河川整備計画を策定する。
		1.0			

総括評価	成果	河川港湾施設の計画的な維持補修により利用者の安全確保を図った。またクルーズ客船の誘致等により港の賑わいづくりを推進した。
	課題	老朽化した施設の計画的な改修・補修には財源確保が課題である。
	今後の方向	河川・港湾施設の計画的な更新・補修を努めると共に、クルーズ客船の誘致や社会実験等による地域活性化・認知度向上を図る。